

飯山赤十字病院

入院のご案内

ご入院時には本冊子を必ずお持ちください

入院日 | 年 月 日



目 次

1 入院までの準備 ▶ P.2

入院までの流れ
入院手続きに必要な書類
入院生活に必要な持ち物

2 入院中の生活 ▶ P.5

3 入院費用の支払い ▶ P.12

4 退院 ▶ P.14

5 医療安全対策 ▶ P.15

6 感染防止対策 ▶ P.17

7 参考資料 ▶ P.18

本冊子は、入院に必要な情報をまとめたものですので、患者さんご本人並びにご家族の方もご一読ください。

入院前の準備を進めるため、あるいは、入院生活を理解していただくために、ご利用ください。

本冊子は、入院から退院まで使用します。入院時は忘れずにご持参ください。

1. 入院までの準備

入院までの流れ

入院が決まってから、入院当日までの流れは次のとおりです

入院前（外来診療時）

入院予約

診療科で、病院職員（主治医・看護師等）が入院の説明と予約を行います。

入院前オリエンテーション

診療科外来又は診療サポートセンターで、入院の説明（持ち物等）や手続きに必要な書類（入院申込書等）について、説明いたします。また、普段の生活状況についてお伺いします。

お薬の確認

入院前に「お薬」・「サプリメント」の確認をいたします。現在お使いの「お薬」・「お薬の説明書」・「お薬手帳」・「サプリメント」を持参してください。

入院日当日

入院受付

1 階「初めて来られた方」窓口で入院手続きを行います。（診療科外来又は診療サポートセンターから指定された場所にお越しください）

入院

入院病棟にご案内いたします。個室をご希望の場合は、入院手続きの際に希望をお伝えください。診療費とは別に、個室使用料を申し受けます。（個室の詳細は6 ページをご覧ください。）

お薬の確認

入院後、看護師が持参されたお薬とお薬手帳をお預かりします。持参薬は荷物からすぐに出せるようにしておいてください。（お薬についての注意点は3 ページをご覧ください。）

治療計画説明 生活状況問診

入院後、主治医から「入院診療計画書」で治療計画の説明を行いますので、治療内容をご確認ください。また、看護師が生活状況についてお尋ねします。

入院申込書の提出

入院日より3日以内にマイナンバーカード又は保険証・資格確認書や公費受給者証（お持ちの方）を添えて提出ください。

提出場所

平日8:30～17:15・・・ 1 階「初めて来られた方」の受付
上記以外…………… 1 階 夜間窓口の受付

入院手続きに必要な書類



- ☐ 診察券（外来診療の時に利用しているカード）
- ☐ マイナンバーカード又は保険証・資格確認書（保険診療の場合）

※交通事故や労働災害等の場合、保険診療にならない場合があります

- ☐ 限度額適用認定証 又は 限度額適用・標準負担額減額認定証（詳しくは13 ページ）

※これら認定証は、申請からお手元に届くまで1週間～10 日程かかりますので、入院後の提出でも結構です

※当院は「オンライン資格確認システム」を導入済みですので、患者さんご本人が「限度額適用認定証区分」「適用区分」等の個人情報利用にご同意いただければ、事前に認定証を入手しなくても病院窓口で手続き可能です。

- ☐ 公費受給者証（お持ちの方のみ）

※福祉医療受給者証、高齢受給者証、特定疾患受給者証、介護保険被保険者証など

- ☐ 入院申込書（入院から3 日以内に1 階受付へ提出してください）

入院生活に必要な持ち物



入院時の持ち物は以下のとおりですので、ご準備いただきお持ちください。

☐ で囲まれたものは日額定額制のレンタルセットが利用可能です。（申込必要）

- ☐ お薬手帳・現在お使い中のお薬・お薬説明書（注1）
- ☐ 下着・前開き肌着（各3 枚位）
- ☐ お茶用コップ（割れないもの）
または吸い飲み
- ☐ かかとのある靴（16 ページ参照）
- ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉・コップ（割れないもの）
※口腔ケア用品は売店で購入できます
- ☐ ウエットティッシュ（手拭き用）
- ☐ 洗濯物を入れるビニール袋
- ☐ 不織布マスク
- ☐ 電気ひげそり（必要な方）
- ☐ 保湿クリーム・ローション（必要な方）
※売店でも購入できます

- ☐ 寝巻き
- ☐ バスタオル・フェイスタオル（各5 枚位）
- ☐ 箸・スプーン
- ☐ 使い捨ておしぼり（食事用）
- ☐ 紙おむつ（カバー式・パンツ式・
尿取りパッド・お尻拭き等）
- ☐ ボックスティッシュ
- ☐ シャンプー・リンス・石鹸

- ☐ ケース類（補聴器・入れ歯）
- ☐ イヤホン
（テレビ・ラジオを利用する方）
- ☐ 充電器（ひげそり器、携帯電話）

（注1）

お持ちになるお薬は飲み薬・塗り薬・貼り薬・目薬等で現在使用中のもののみで結構です。
ただし、医師から一時的に中止するように言われているお薬は忘れずに持参してください。

持ち物に関してのお願い



万が一、紛失や盗難、破損等があった場合、
病院に何らかの過失がない限り、一切の責任は負いかねます。
多額の現金や貴金属類、宝飾品、有価証券等の貴重品の持ち込みはご遠慮願います。
補聴器や入れ歯は破損する恐れがありますので、ケースに入れて保管してください。

持ち物には、
ご記名を
お願いします



記入は
お済み
ですか？

持ち込みできないもの

以下については、持ち込みを
お断りしております。

火気類

ベンジン等引火しやすいもの、ライター、暖房器具等

危険物

刃物(カミソリを含む)、ハサミ等

治療に影響が あるもの

酒類、たばこ(電子たばこ含む)、動物(身体障害者補助犬については職員にご相談ください)等

電化製品

電気ひげそり、携帯電話(スマートフォン、タブレットを含む)以外の電化製品(テレビ等)

その他

楽器、その他音が発生するもの等

2.入院中の生活

入院生活、治療・看護について、医師や看護師の指示をお守りください。
一日の生活の流れは、概ね以下のとおりとなります。



6 時
起床



7時45分
朝食



12 時
昼食



18 時
夕食



21 時
消灯

お食事について

お 食 事



お食事は、上記時間を目安に病室へお持ちします。(状況により、時間が前後する場合があります) お茶もお配りします。

主治医の指示によって、お一人お一人の病状に応じたお食事を管理栄養士が管理しております。

アレルギーや嗜好など、お食事についてご希望があれば、看護師、主治医、栄養士にご相談ください。

衛生管理上、ご自宅から調理食の持ち込み、保管、病院内での食べ物のやり取りはご遠慮ください。

生活について

お風呂・シャワー



入浴、シャワーを希望される場合は、病状により医師の許可が必要ですので、ご相談ください。

お風呂のご利用は平日 8 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0 です。

この時間帯以外はシャワーの利用となります。

携帯電話の利用 (スマートフォン) 公衆電話



携帯電話(スマートフォン)は入院中、マナーモードにしてください。

携帯電話(スマートフォン)の利用可能場所／禁止場所は、以下のとおりです。

【利用可能場所】

各病棟食堂、エレベーターホール、電話コーナー、個室病室
1 階ラウンジ、正面玄関付近、エントランスホール

【利用禁止場所】

個室以外の病室、外来診察室・待合室、検査課、放射線科

公衆電話は、各病棟エレベーターホールや 1 階正面玄関右側にカード式電話やコイン式電話を設置してありますので、ご利用ください。

(1 階夜間窓口前の両替機をご利用ください)

病院内では患者さんや職員のプライバシー及び個人情報保護のため、携帯電話(スマートフォン)での写真撮影や SNS 等への掲載は行わないでください。

有料個室病室

個室利用ができる病室及び設備・料金は下表のとおりです。

個室利用料は1日ごとの料金となります。

(1泊2日の場合、個室利用料×2日分(消費税込み)となります)

病状により、病院側が治療の必要上から個室を指定させていただく場合がありますが、その場合は、個室利用料をいたしません。

病棟	病室番号	ベッド数	面積	浴室	トイレ	洗面台	個別空調	電動ベッド	クローゼット	ロッカー	個室利用料 (1日当たり) (消費税込み)
2階 東病棟	205 / 206	1	10.8 m ²		●	●				●	4,400円
	217 / 218	1	11.6 m ²		●	●	●	●		●	5,500円
	219 / 220	1	13.3 m ²	●	●	●	●	●	●		6,600円
3階 東病棟	301～306 313 / 314 318～326	1	10.8 m ²		●	●				●	3,300円
3階 西病棟	351～354	1	12.5 m ²			●				●	2,200円
	355 / 356 363～366	1	10.2 m ²		●	●				●	3,300円
4階 東病棟	401～404	1	12.6 m ²			●				●	2,200円
	405～408 414 / 415 420～424	1	10.3 m ²		●	●				●	3,300円
	425	1	17.2 m ²	●	●	●		●		●	6,600円

テレビ・冷蔵庫



テレビ・冷蔵庫を利用する場合には、お申し込みが必要です。

利用料金は1日当たり420円になります。

個室病室以外では、テレビの視聴はイヤホンをご利用ください。
(イヤホンは売店で販売しています)

外出・外泊



原則禁止となります。やむを得ず外出・外泊が必要となった場合は医師の許可が必要となりますので、早めに医師または看護師にお申し出ください。(事前に、「外出・外泊申請許可証」の申請が必要です)

新型コロナウイルスやインフルエンザが流行している場合等は、外出・外泊を許可しないこともあります。

2. 入院中の生活

売 店

日用品や医療・衛生用品、下着類等を取りそろえております。

平日 8:00～17:00

土曜・祝日 10:00～15:00

日曜 お休み

自動販売機

各病棟のエレベーターホールや1階ラウンジにございます。



受付・お会計・お薬／救急センター／各外来診療科／診療サポートセンター／
リハビリテーション科／地域医療福祉連携課／訪問看護ステーション／居宅介護支援事業所／
健康診断／放射線科／検査科／内視鏡／ラウンジ／売店・自販機／ATM

その他の設備

A T M

1階売店横にけんしんATMがあります。全国の銀行・しんきん・ろうきん・ゆうちょ銀行・JAバンクのキャッシュカードが利用可能です。

利用時間平日 8:00～21:00

土・日・祝日 9:00～19:00

郵便ポスト

夜間救急出入口にございます。
切手は売店でお買い求めいただけます。

洗濯機・乾燥機

各病棟ごとに設置しております。洗剤はご自身でご用意ください。
洗濯機・乾燥機は有料となっております。
両替は病院1階の会計窓口でお願いします。

利用時間 6:00～20:00

無線LAN (Wi-Fi)

当院では無線LAN (Wi-Fi)を整備しています。ご利用は無料です。

利用場所 1階：ラウンジ
2階：手術待合所
3階／4階：食堂・公衆電話裏の待合室

利用時間 毎日7:00～21:00

面会について

面会につきましては、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症の流行状況に応じて、「面会可能」「面会制限」「面会禁止」としています。

現在の飯山赤十字病院は、

面会可能・面会制限・面会禁止 です。

面会可能

面会時間

(平日) 15:00~19:00

(休日) 10:00~12:00 / 15:00~19:00

面会は病棟食堂をご利用ください。2階東病棟の方は4階西食堂をご利用ください。病室内での飲食、大勢での面会や小さなお子様の面会のご遠慮ください。患者さんの安静を保つため面会時間等をお守りください。

面会制限

面会制限中は、面会時間・面会人数等を制限した上で、**予約制で面会**を行うことができます。面会制限中には「予約面会のご案内」をお渡しします。

面会禁止

面会禁止中は、医師の許可がある場合を除き、面会できません。**オンライン面会は可能**ですので、「オンライン面会のご案内」をお渡しします。

- 予約面会・オンライン面会を希望される場合は、事前に病棟ナースステーションにご連絡ください。ご希望の日時に添えない場合があります。
- 「面会禁止」中や「面会制限」中のときは、原則として、**ご親族やご友人の面会はできません。**
- 入院を知らせておきたいご親族・ご友人の方などへの連絡は、ご本人・ご家族からお願いします。また、面会を希望されない患者さんは、看護師にお申し出ください。

付き添い

当院は、厚生労働大臣の定める基準による看護を行っていますので、原則として付き添いは必要ありません。

洗濯物等の荷物の交換

「面会可能」な場合は、面会時間（平日15:00～19:00 休日10:00～12:00／15:00～19:00）内に荷物を病室にお届けください。

※病室へ入室する前に、1F受付で手続きをし、名札をつけてください。

※荷物の交換にあたって、予約は不要です。

「面会禁止」「面会制限中」であっても、患者さんの洗濯物等の荷物の交換は可能です。

荷物の交換の時間 （毎日）14:00～17:00

荷物の交換場所 （平日）各病棟エレベーターホール （休日）夜間受付

※感染症の流行状況により、時間や場所が変更になる場合があります。

電話等での問い合わせ

電話や受付窓口等で、患者さんの入院病棟や病状等をお問い合わせいただいても、プライバシー保護の観点から、お答えできません。

入院を知らせておきたいご親族・ご友人の方などへの連絡は、ご本人・ご家族からお願いします。

【相談・ご意見】

入院生活での様々な困りごとや不安がございましたら、病棟職員にお気軽にご相談ください。

相談内容により、専門的知識をもつ職員が対応いたします。

職員に直接伝えづらい場合は、各病棟の公衆電話横にある「ご意見箱」をご利用ください。

退院後の生活相談は、
1 階 医療社会事業部で承ります。



病院からのお願い

■ 入院中の他の医療機関受診や薬の処方

入院中にほかの医療機関（病院・医院）に受診、または代理の方（家族）を通じて薬の処方をされますと、その医療機関は保険請求が原則できなくなりますので、**入院中は他の医療機関を受診しないようにしてください。**かかりつけ医から処方されているお薬が必要な場合は、院内で処方しますので、職員にご相談ください。

■ 入院中の手術や病状等の説明

医療界における「働き方改革」として、厚生労働省は「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」を作成し、各病院に対して取組の積極的な実施を求めています。
そのため、当院では下記のようにしておりますので、ご理解をお願いします。

手術や病状の説明は、原則として **平日の時間内（8：30～17：00）** としております。
※緊急の場合はこの限りではありません

■ セカンドオピニオン

セカンドオピニオンとは、納得のいく治療方法を選ぶため、別の医師に「第2の意見」を求めることです。

セカンドオピニオンを希望される場合は、主治医または看護師にご遠慮なくお申し出ください。
検査結果やレントゲン画像、受診状況等を記載した診療情報提供書をお渡しします。

■ 貴重品の管理

現金や携帯電話、入れ歯、補聴器等は、盗難・紛失を防ぐため、使わないときや夜間は床頭台の鍵付きの引き出し内に施錠して保管ください。

引き出しを施錠後の鍵はご自身で管理いただきますようお願いいたします。

■ 医療安全対策

安全な入院生活を過ごしていただくため、当院では医療安全推進室を設け、職員一同、患者さんの安全確保に取り組んでいます。患者さんにご協力をいただく内容は15ページ～16ページに詳しく説明してありますので、ご覧ください。

■ 病室・病棟の移動

患者さんの病状や感染症の流行状況等により、病室・病棟を移動していただく場合がありますので、ご協力をお願いします。

病院からのお願い

■ 褥瘡（床ずれ）予防

褥瘡とは、皮膚の同じ場所に一定時間以上の圧力が加わったり、寝具と皮膚の摩擦やずれで起こります。当院では、褥瘡予防のため医師をはじめ、様々な職種の職員がチームで予防に取り組んでいます。褥瘡予防のため、ベッド上での体位変換や身体の保湿や保清、栄養状態の改善などの予防対策を行います。皮膚が弱い方や必要な方は保湿剤をご持参ください。

■ 敷地内全面禁煙

当院は、受動喫煙防止および皆様の健康を守るために、健康増進法第25条に基づき、病院建物内のほか、駐車場を含めた敷地内全面禁煙となっております。

※当院では禁煙外来を設け、たばこをやめたい方への治療を行っています。

■ 入院中の駐車場利用

駐車場は、外来患者さん専用となっております。

入院中の患者さんの長期駐車はご遠慮願います。面会の方は外来駐車場をご利用ください。

駐車料金は1時間以内は無料ですが1時間を超過しますと有料になります。

■ 災害時の対応

火災や地震、水害などの非常事態が発生した場合は、非常ベル（火災の場合）・非常放送でお知らせします。災害が発生した場合、あわてて動き回らず、看護師などの職員の指示があるまで病室で待機し、避難は職員の指示に従ってください。

避難経路は、病室ドアの内側に掲示してありますので、ご確認ください。災害発生時は、エレベーターを使用しないでください。

火 災

職員が避難を誘導しますので、指示があるまで病室でお待ちください。煙を吸い込まないように、タオル・ハンカチ等を準備ください。

地 震

最初の地震の後の余震に備え、頭部を保護する毛布などを用意してください。窓ガラスが割れる恐れがありますので、窓から離れてください。

水 害

高齢者等避難指示が発令されたときは、検査やリハビリ等で1階にいる患者さんは、職員の指示で病室にお戻りください。

■ その他

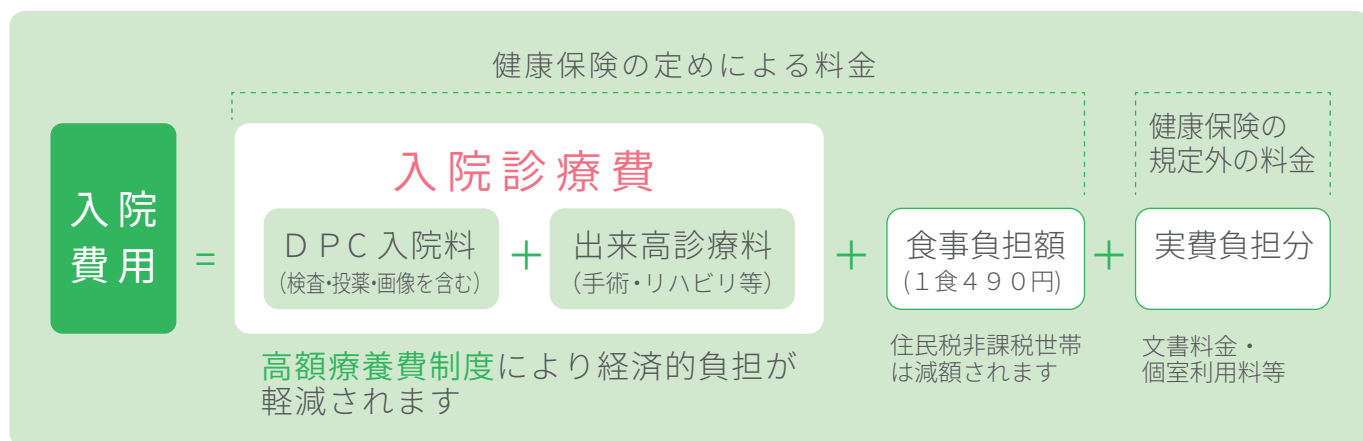
ルールやマナーを守り、暴言・暴力や迷惑行為などは厳に慎んでください。従っていただけない場合は、退院していただきます。また警察に通報します。

3.入院費用の支払い

入院費用の仕組み

入院費用は、以下の図のようになっています

入院費用は入院診療費に加え、お食事代や実費負担分を合計し、一ヶ月毎にお支払いいただきます。



■ D P C (診断群分類包括評価) とは

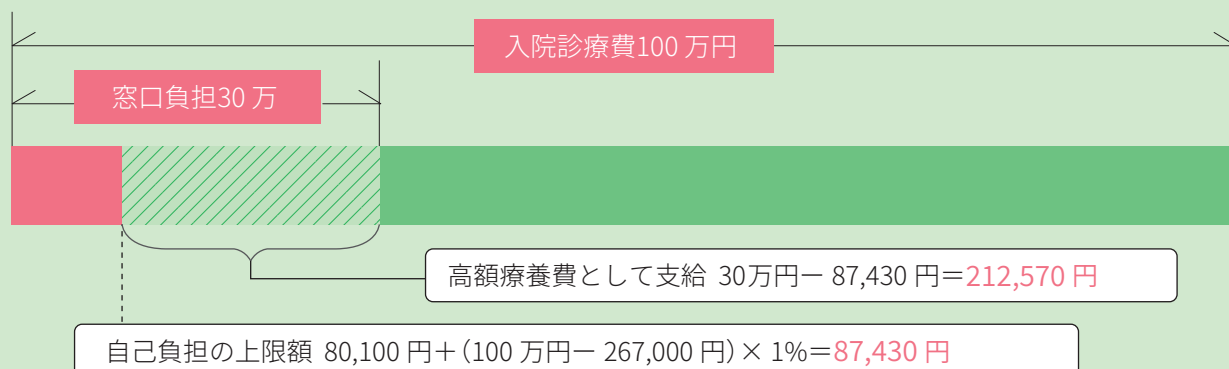
従来の診療行為ごとの点数をもとに入院料を計算する「出来高払い方式」とは異なり、入院患者さんの病状をもとに、厚生労働省が定めた1日当たりの定額の点数により計算を行う国が推奨する制度です。(労災、自賠責事故などD P Cの対象にならない場合もあります)

高額療養費制度

高額療養費制度とは、入院診療費の経済的負担を小さくする制度です

高額療養費制度とは、入院診療費（食事負担額や個室利用料等は含みません）が、ひと月（月の初めから終わりまで）で「自己負担の上限額」を超えた場合に、その超えた金額を、加入健康保険者（以下「保険者」）に申請すると、後日、患者さんの銀行口座に支給される制度です。自己負担の上限額は、年齢や年収によって変わります。

例 70歳以上・年収370万円～770万円・医療費3割負担で、入院診療費100万円・窓口負担（3割）が30万円かかる場合



病院窓口での支払金額を減額する方法

高額療養費制度は、患者さんの経済的負担を軽減する制度ですが、いったん窓口で自己負担分（医療費の3割～1割：前ページの図の例で30万円）を支払い、後日、保険者に申請して、上限額との差額（前ページの図の例で21万2,570円）を補助してもらう必要があります。

この手続きの煩雑さや、いったん窓口で多額の支払いをする負担を解消する方法が2通りあります。どちらかの方法で手続きいただくと、窓口での支払額を「自己負担上限額」（前ページの図の例で8万7,430円）まで減額することができます。

① 病院の「オンライン資格確認システム」を利用する方法

入院手続き時に、「限度額適用認定証区分」「適用区分」等の個人情報を病院が利用することを、患者さんご本人が入院申込書によりご同意いただければ、窓口で確認させていただきます。

② 限度額適用認定証（または限度額適用・標準負担額減額認定証）を提出する方法

個人情報の利用にご同意いただけない場合は、健康保険者から認定証の交付を受け、病院にご提出ください。認定証の交付窓口は以下のとおりです。

- 国民健康保険加入者：市町村役場
- 全国健康保険協会加入者：協会けんぽ各支部
- 健康保険組合加入者：お勤めの会社
- 後期高齢者健康保険加入者：市町村役場

※これら認定証は、申請からお手元に届くまで1週間～10日程かかりますので、入院後の提出でも結構です。

入院費用の支払い

入院費用のお支払いは、月ごとになります。

毎月、一か月分の入院費用を計算し、翌月上旬（8日頃）に職員が病室へ伺い、請求書をお渡しします。ご自宅への郵送希望の方はお申し出ください。

請求書を受け取ってから1週間以内に1階受付「会計窓口」でお支払いをお願いします。

お支払い方法は、現金又はクレジットカードになります。

ご利用できるクレジットカードは、VISA、MASTER、JCB、アメリカンエクスプレスになります。

銀行振込をご希望される場合やお支払いが遅くなる場合は、「会計窓口」職員にご相談ください。

お支払いいただきましたら、領収書（医療費明細書）をお渡しします。

領収書は、確定申告時の「医療費控除」や「高額療養費」の申請に必要になりますので、大切に保管してください。

領収書の再発行はいたしておりませんが、領収書に代えて支払証明書を1件1,100円（実費）で発行いたします。

利用できる
クレジットカード



4. 退 院

退院までの流れ

退院が決まってから、退院当日までの流れは次のとおりです

退院前（入院中）

退院日の決定

退院の予定がたちましたら医師からご説明いたします。
病棟職員が患者さん、ご家族と相談し、退院日を決定します。

退院後の生活についての相談

退院後の生活に不安な点がありましたら、1階医療社会事業部の専門職員が以下のご相談に応じております
(退院日決定前でも相談可能です)

- ・医療費や生活費等の経済的な問題について
- ・年金や健康保険、社会福祉制度の利用方法や申請について

- ・各種社会福祉施設の入所・通所手続きについて
- ・病気、けが、障がいの療養生活に関する様々な相談
- ・退院後の社会資源（サービス）の利用について

退 院 日 当 日

入院費用の支払

退院日までに、退院月分の入院費用の請求書を、職員が病室までお届けします。1階受付「会計窓口」でお支払いをお願いします。

退 院

原則として午前中の退院をお願いしています。
ご事情があり、午後の退院をご希望される場合は、事前にお申し出ください。

- 職員に対するお心遣いは固くお断りしております
- 忘れ物は、1か月間保管していますので、病棟へお問い合わせください

診断書・証明書

診断書が必要な場合、1階「診断書窓口」にご相談ください。

当院所定の用紙以外の診断書を希望される場合は、指定の用紙をお持ちになり、1階の「診断書窓口」にお出してください。

入院の証明書（生命保険等）を希望される場合は原則として退院後の発行になります。

診断書・証明書は有料（実費）になりますので、「保険外負担金（実費）料金表」（20ページ）でご確認ください。

診療情報の開示について

インフォームド・コンセントの理念を踏まえ、患者さんからの求めに応じて診療記録が閲覧できます。ご希望の方は、「診療支援課」までご連絡ください。

なお、診療記録の写しの交付を希望された場合は、実費をご負担いただきます。

5.医療安全対策

医療安全

皆様のご協力をお願い致します。

安全な医療を行うため、患者さんやご家族の皆様にも治療に参加していただき、医療事故の防止に取り組むことを推進しています。皆様のご協力をお願い致します。

氏名の確認にご協力ください

- 入院される患者さんには、入院中、お名前を印刷したリストバンドを装着させていただきます。
- 診察・検査・処置・点滴・受付・会計などで職員がお尋ねしましたら、お名前と生年月日をお答えください。

転倒・転落予防にご協力ください

入院すると、安静による筋力の低下や治療による体力の低下、不慣れな環境で転倒・転落を起こしやすくなります。また、転倒・転落により骨折や打撲を起こすこともあります。当院では、療養環境を整え、転倒・転落防止に努めていますが、安全性を高めるためにも、患者さんやご家族のご理解やご協力をお願いします。

自分でできる(過信)
人に頼みにくい(遠慮)



転倒・転落 しやすい場面

薬の服用による眠気



安静による筋力低下
など



スリッパや
サンダル



不慣れな環境



安全な入院生活のために

転ばない・ベッドから落ちない為に環境を整えましょう

ベッド柵

転倒・転落防止に柵を利用しましょう

枕灯

夜間トイレに行くときは明かりをつけて行動しましょう

ナースコール

動く時に不安な方や体力が低下している方、運動障害がある方など遠慮なく看護師を呼んでください

履物

かかとのある履きなれた靴や運動靴をご利用ください ＊当院の売店で販売もしています

スリッパ

×



サンダル

×



靴

○



売店の靴

○



足元はすっきり

荷物はロッカーなどに入れてください。水などがこぼれていると滑る危険があります。スタッフを呼んでください

- 眠り薬や痛み止めを服用されている方は足元がふらつくことがあります。用事のある時や不安な時には遠慮なくナースコールでスタッフを呼んでください。
- 患者さんが思わぬ行動をとることや判断力が低下して危険が予知される場合は、安全確保のため、ベッドから離れたことがわかるような装置を使用させていただくことがあります。治療上やむを得ない場合は、患者さん並びにご家族にご理解・同意をいただいてから身体抑制をさせていただく場合があります。
- 点滴スタンド・床頭台・テーブル・カーテンなど動くものを支えにすることは危険です。

医療安全推進室からのお願い

- 正確な情報を提供してください。

安全な医療を提供するためにも、情報は出来るだけ正確に医師や看護師や薬剤師にお知らせください。

食べ物や薬でアレルギーの出た方や、検査で使用したお薬でアレルギーが出た方はお知らせください。

- 治療内容を医師と一緒に話し合しましょう。

治療に関する希望・意見や心配事などは医師・看護師に伝え、一緒に話し合しましょう。

手術や検査、治療や輸血などを受ける場合は、説明内容を確認しましょう。

「説明・同意書」は内容をよく読んでご理解いただいた上で署名しましょう。

- 医療安全について質問や気になることがありましたら、遠慮なく医療安全推進室へお尋ねください。

6. 感染防止対策

感染対策に関するお願い

院内感染を予防するために以下の点についてご協力をお願いいたします。



手洗い・手指消毒

病室に入る時や出る時、食事前、排泄後などこまめに手洗いや手指の消毒を行いましょう。病室の入り口に手指消毒剤がありますのでご使用ください。

マスクの着用

咳などの症状がある時は不織布マスクの着用をお願いします。また、感染症流行時には医師や看護師からマスクの着用をお願いすることがありますのでご協力をお願いします。(不織布マスクはご自身でご準備をお願いします)

感染対策のため、個室隔離をお願いすることがあります

院内感染予防を目的に個室対応させて頂く場合があります。職員は必要に応じて、个人防护具 マスク・手袋・エプロン・ゴーグルなどを着用して処置を行います。また、必要に応じて病室前に表示をさせていただきます。

感染症検査

職員が患者さんに使用した針等で針刺しを起こした場合や患者さんの体液に直接接触した場合等に、患者さんの感染症を血液検査で確認させていただきます。

ベッド周囲の整理整頓

ベッド周囲は整理整頓をしてお過ごしくください。入院時の持ち物は最小限にしましょう。病室の床は細菌が繁殖しやすいため、物を床に置かないようにしましょう。

食べ物の持ち込みについて

食べ物の持ち込みは、感染性胃腸炎の原因になる場合があります。病院内での食べ物の保管は最小限にしてください。他の患者さんへの差し入れはご遠慮ください。

7. 参考資料

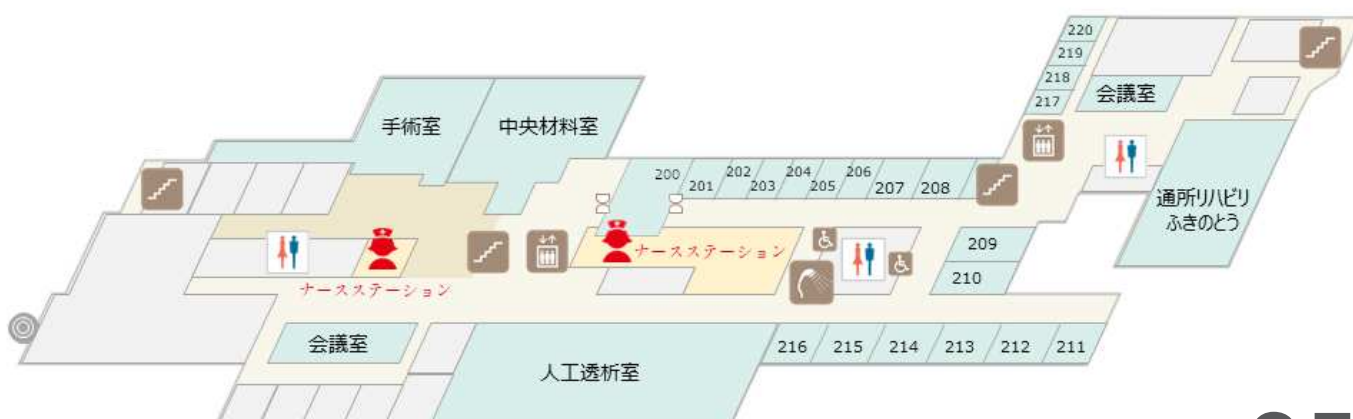
病棟案内図



4F



3F



2F

記入例

科 別	※		
病 室	※	病棟	号室
I D 番 号	※		

入 院 申 込 書

このたびの入院については、病院からの説明入院後は、病院の諸規則並び診療上指示されたこと、病院から指示があり次第、遅延なく支払うことなど、この証書は、入院日より3日以内に「初めてマイナンバーカードによる保険証確認」してくたので、提出をお願いします。

※保険証以外に、前期高齢者証・公費受給者証をお持ちの方は、一緒に添えてお出してください。

マイナンバーカード(または保険証・資格確認書)を必ず添え手続きしてください。

それ以外に、前期高齢者証・公費受給者証・福祉医療受給者証・限度額適用認定証、介護保険被保険者証などがあれば、併せてご提示ください。

		入院日 年 月 日	
患者ご本人	現住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇	
	氏名	日赤 太郎	
	生年月日	昭和 ×× 年 ×× 月 ×× 日	年 齢 ×× 歳
	☐ オンライン資格確認等システムにより限度額情報を提供します。		
連帯保証人	現住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 △△県△△市△△ ×××-×××	
	氏名	飯山 次郎	
	患者との続柄	◇◇◇	
	極度額	200,000円	
緊急連絡先	現住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇	
	氏名	日赤 花子	
	患者との続柄	配偶者 父母、子、兄弟(姉妹)、孫、祖父母 その他 ()	

氏名欄は、署名または記名押印をお願いします。

極度額：民法改正(令和2年4月1日施行)により、連帯保証人が、患者さん本人の医療費等の支払いについて連帯責任を負う上限金額(極度額)を定めることになりました。当院では一律、左の金額としています。

○この用紙でご提供いただいた情報は「個人情報の利用目的」に記載されている事項や、医療安全のために氏名の呼び出しや表示による確認、及び診療費等のお支払いにかかる確認に利用いたします。

飯山赤十字病院
病院長 殿

(記入にあたってのお願い)

1. 連帯保証人については、患者ご本人とは別世帯で、独立した生計を営んでおられる方を選定してください。
2. 入院を申し込むにあたり、患者さまの容態によりご本人からの了解を得ることが困難であるときは、ご家族の了解をもってこれに代えさせていただきます。(患者さまが未成年の場合は、法定代理人である親権者とします。)
3. 記入事項に変更が生じた場合は、速やかに届出をお願いします。
4. ※印の欄は記入しないでください。

【個人情報に係る相談窓口】

飯山赤十字病院 総務課
電話 (0269) 62-4195

保険外負担金（実費）料金表

診断書や証明書など（健康保険法の療養に該当しない保険外負担）の料金について、その使用量、利用回数に応じた実費のご負担をお願いしています。

税込料金（10%）

▼ 診断書	単位	金額
1 院内書式診断書	1枚	2,200 円
2 院外書式診断書（保険会社等）	1枚	5,500 円
3 英文診断書	1枚	11,000 円
4 死亡診断書	1枚	4,400 円
5 死体検案書	1枚	5,500 円
6 後遺症診断書	1枚	5,500 円
7 労災保険用診断書	1枚	4,000 円
8 自賠責保険用（診断書+ 明細書）	1枚	11,000 円
9 自賠責保険用（診断書）	1枚	5,500 円
10 自賠責保険用（明細書）	1枚	5,500 円
11 身体障害者・特別障害者診断書	1枚	5,500 円
12 市町村交通災害共済診断書	1枚	2,200 円
13 ウイルス肝炎認定申請に伴う診断書	1枚	3,300 円
14 生保自立支援診断書	1枚	3,300 円
15 施設入所診断書	1枚	2,200 円

▼ 証明書等	単位	金額
1 入院室料差額補助金申請書	1枚	2,200 円
2 受診状況等証明書	1枚	2,200 円
3 ウイルス肝炎臨床個人票	1枚	3,300 円
4 ウイルス肝炎医療費受給者証更新に伴う意見書	1枚	3,300 円
5 オムツ証明書・入院・通院証明書（オムツ証明書）	1枚	1,100 円
6 療養期間証明書	1枚	1,100 円
7 特定疾患個人票・精神疾患個人票	1枚	3,300 円
8 年金等の受給権者定期報告書	1枚	5,500 円
9 装用意見書	1枚	1,100 円
10 運動器損傷証明書	1枚	5,500 円
11 特定損傷治療証明書	1枚	5,500 円
12 治療証明書	1枚	5,500 円
13 支払証明書	1枚	1,100 円
14 就業許可申請書	1枚	5,400 円

▼ その他	単位	金額
1 尿取りパット	1個	19 円
2 リハビリパンツ	1個	76 円
3 紙オムツ	1個	31 円
4 紙オムツ（テープ式）	1個	97 円
5 ポリネック	1個	2,750 円
6 処方せん再発行料（薬の種類が7 種類以上）	1回	440 円
7 処方せん再発行料（薬の種類が6 種類以下）	1回	748 円
8 画像データC D－R	1枚	1,100 円
9 診察券再発行料	1枚	110 円
10 浴衣	1着	950 円
11 エンゼルセット	1個	5,500 円
12 セカンド・オピニオン	60 分	11,000 円

▼ 検査	単位	金額
1 S T D検査	1回	21,600 円
2 S A R S－C o V－2 抗原定量検査	1回	17,770 円

診断書・証明書が必要な時には、病院1 階「診断書窓口」でお申し込みください。お申込みからお渡しまで2 週間程度かかりますのでご了承ください。

診断書窓口：月曜日～金曜日（土・日・祝日除く）8:30 ～ 17:00

ご本人以外の方が申し込みされる場合は同意書が必要となります。

飯山赤十字病院における個人情報の利用目的

■ 患者さん等への医療等の提供に必要な利用目的

〔病院内部での利用に係る事例〕

- 本院が患者さん及び介護サービス利用者（「患者さん等」という）に提供する医療・介護サービス
- 医療・介護・労災保険、公費負担制度に関する事務
- 患者さん等に係る病院の管理運営業務のうち、
 - 外来管理及び入院等の病棟管理
 - 会計・経理
 - 医療事故等の報告
 - 患者さん等の医療・介護サービスの向上

〔他の事業者等への情報提供を伴う事例〕

- 本院が患者さん等に提供する医療・介護サービスのうち、
 - 他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
 - 他の医療機関等からの照会への回答
 - 患者さんの診療等に当たり、外部の医師等の意見・助言を求める場合
 - 検体検査業務の委託その他の業務委託
 - ご家族等への病状説明
- 医療・介護・労災保険、公費負担制度に関する事務のうち、
 - 保険事務の委託
 - 審査支払機関（公費負担制度に関する行政機関を含む）へのレセプトの提出（適切な保険者への請求を含む。）
 - 審査支払機関又は保険者への照会
 - 審査支払機関又は保険者からの照会への回答
- 事業者等からの委託を受けて健康診断等を行った場合における、事業者等及び保険者へのその結果の通知
- 介護サービス利用者に居宅サービスを提供する他の居宅サービス事業者や居宅介護支援事業所・行政機関等の連携（サービス担当者会議等）、照会への回答
- 医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等

■ 上記以外の利用目的

〔病院内部での利用に係る事例〕

- 病院の管理運営業務のうち、
 - 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
 - 病院の内部において行われる学生の実習への協力
 - 病院の内部において行われる観察研究や症例報告

〔他の事業者等への情報提供を伴う事例〕

- 病院の管理運営業務のうち、
 - 外部監査機関への情報提供
 - 日本赤十字社及び日本赤十字社長野県支部への情報提供

付記

1. 上記のうち、他の事業者等への情報提供を伴う事例について同意しがたい事項がある場合には、その旨をお申し出ください。
2. お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。
3. これらのお申し出は、後からいつでも撤回、変更等を行うことが可能です。
4. 外来・入院管理として、氏名・生年月日を、ご本人確認のため利用しております。受診等のご案内や受付窓口でのお呼び出しで不都合などがある場合は、外来や入院病棟の窓口等にお申し出ください。



病院の基本理念

人道・博愛の赤十字精神に基づき、
患者さん中心の地域医療を実践します。

■ 病院の基本方針

- 1 患者さんの権利を尊重した医療を行います
- 2 安全で質の高い医療を提供します
- 3 医療、保健、福祉施設との連携を推進します
- 4 高齢社会に即した在宅医療、予防医療を実践します
- 5 救急医療、災害救護、講習会等普及事業に取り組みます
- 6 明るく働きがいのある病院を創ります
- 7 地域社会に貢献するため、健全経営を目指します

■ 診察の基本方針

- 1 患者さんの人権、意志を尊重した医療を実践します
- 2 科学的な根拠に基づいた質の高い医療をすべての患者さんへ公平に提供します
- 3 医療の内容について十分に説明し、理解と同意を得たうえで適切な診察を行います。
- 4 セカンドオピニオンへ積極的に対応します
- 5 個人情報適切に管理します
- 6 医療事故・院内感染を防止し、安全な医療を提供します

■ 患者さんの権利の尊重

- 1 人としての尊厳が守られる権利
- 2 個人情報とプライバシーが守られる権利
- 3 安全で適切な医療を受ける権利
- 4 十分な説明を受け納得して医療を選ぶ権利
- 5 セカンドオピニオンを求める権利

■ 患者さんへのお願い

- 1 ご自身の治療のため、必要な情報を正確にお知らせください
- 2 治療効果をあげるため、医師や看護師にご協力ください
- 3 病院のルールに従い、院内での迷惑行為は慎んでください
- 4 受けた医療に対し、診療費をお支払ください

飯山赤十字病院は 認定病院です

日本医療機能評価機構の基準をクリアした



アクセス

- JR 飯山線・北陸新幹線ご利用の場合：飯山駅より 徒歩 3 分
- 高速道路ご利用の場合：上信越自動車道 豊田飯山インターより車で10分



飯山赤十字病院

〒389-2295 長野県飯山市大字飯山 226-1
TEL: 0269-62-4195 (代) FAX: 0269-62-4449

飯山赤十字病院

